2026年9月30日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,300万kW
16時、102,995 MW（10エリア同時刻合計）

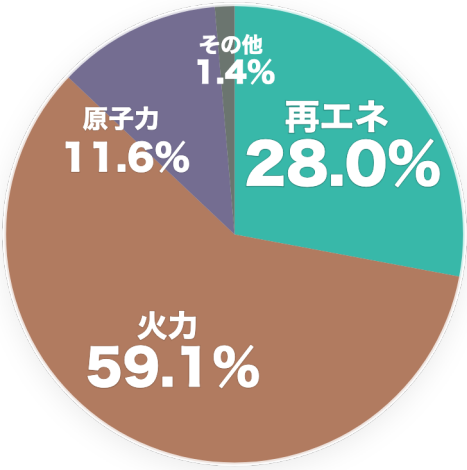
☀ 太陽光ピーク
4,278万kW
12時、42,779 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
119万kW
23時30分、1,192 MW

◇ 再エネ最大需要比
54.9%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
94.5 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
91.7 GWh



概況

再エネ比率トップ

北陸 41.7%

30.9 GWh

出力抑制量

7.0 GWh

最大: 東北 4.4 GWh

揚水・蓄電の充電

35.2 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、17:30に3,151万kWでした。
- 再エネ比率は北陸が最も高く、発電電力量ベースで41.7%でした。
- 出力抑制は東北、中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**28.0%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**602 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,153 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**54.9%**	12時
出力抑制量	**7.0 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**35.2 GWh**	発電構成比には含めない

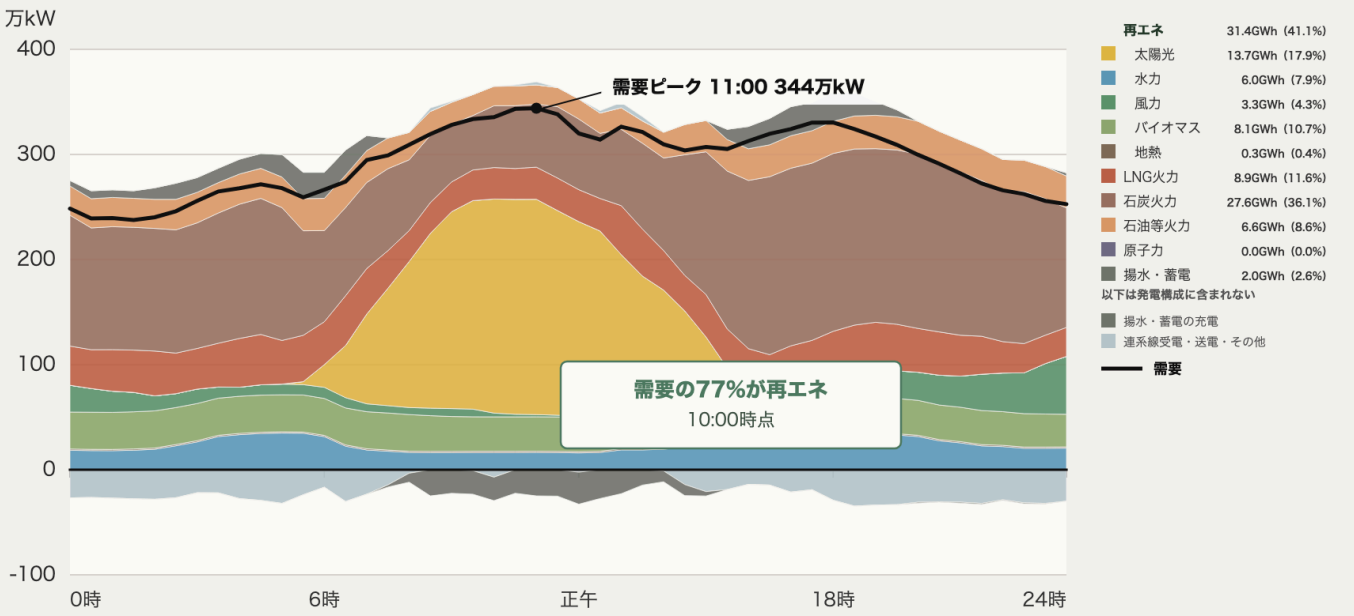
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**41.1%**	**31.4**	**0.0**	**送電 4.5**
東北	**35.6%**	**102**	**4.4**	**送電 91.7**
東京	**16.0%**	**90.7**	**0.0**	**受電 94.5**
中部	**35.9%**	**96.8**	**0.0**	**受電 80.8**
北陸	**41.7%**	**30.9**	**0.0**	**送電 7.5**
関西	**22.5%**	**70.8**	**0.0**	**受電 38.8**
中国	**30.1%**	**53.4**	**1.1**	**送電 27.5**
四国	**31.6%**	**32.0**	**0.0**	**送電 39.0**
九州	**35.7%**	**91.1**	**1.5**	**送電 22.3**
沖縄	**10.6%**	**3.2**	**0.0**	—

2026年9月30日の供給実績

北海道エリア

再エネ
31.4GWh
（発電電力量ベース41.1%）

北海道エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.4GWh

需要ピーク
11:00、344万kW

連系線・その他
4.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

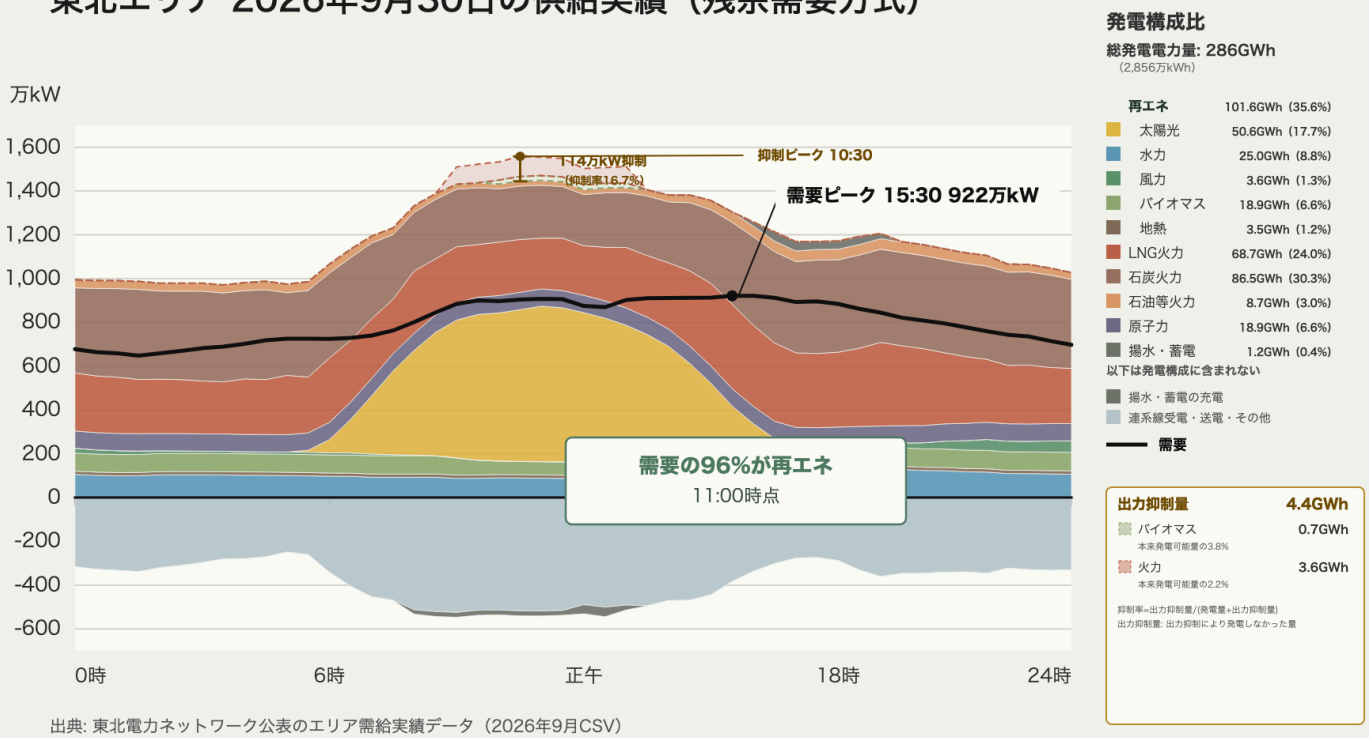
北海道は、太陽光ピーク205万kW、風力ピーク55万kWで、時間別の再エネ最大需要比は76.8%だった。

2026年9月30日の供給実績

東北エリア

再エネ
101.6GWh
（発電電力量ベース35.6%）

東北エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
285.6GWh

需要ピーク
15:30、922万kW

連系線・その他
91.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.4GWh

出力抑制
4.4GWh

概況

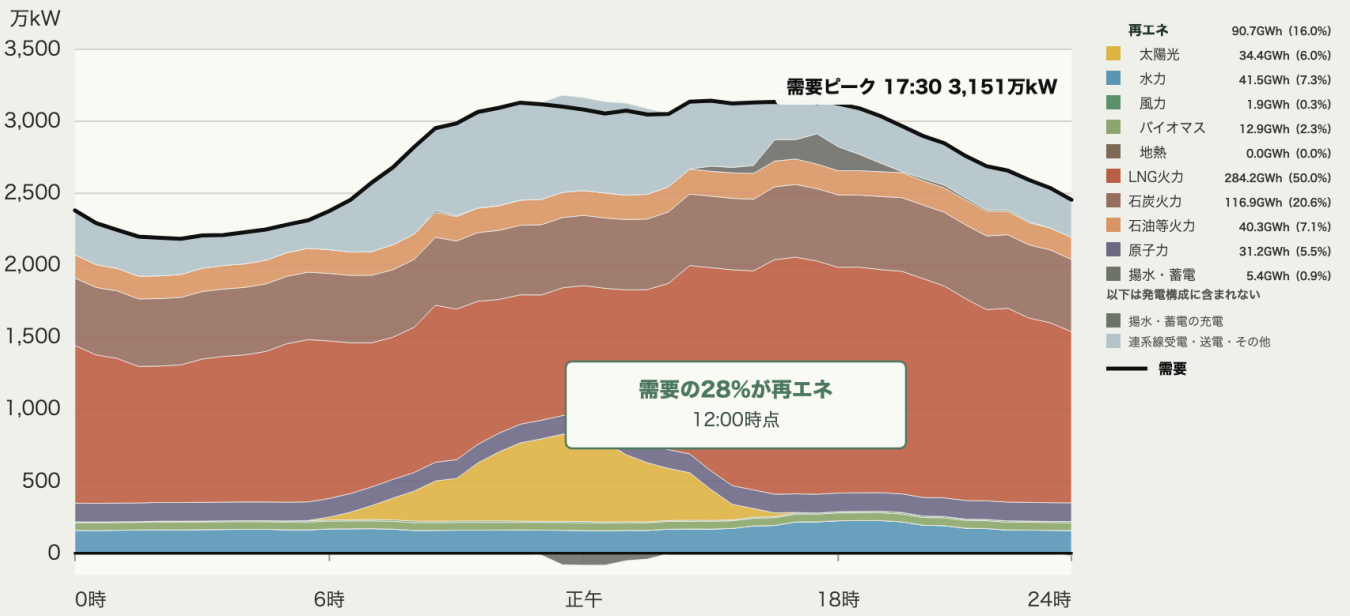
東北は、太陽光ピーク710万kW、風力ピーク53万kWで、時間別の再エネ最大需要比は96.5%だった。

2026年9月30日の供給実績

東京エリア

再エネ
90.7GWh
（発電電力量ベース16.0%）

東京エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
568.7GWh

需要ピーク
17:30、3,151万kW

連系線・その他
94.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
1.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

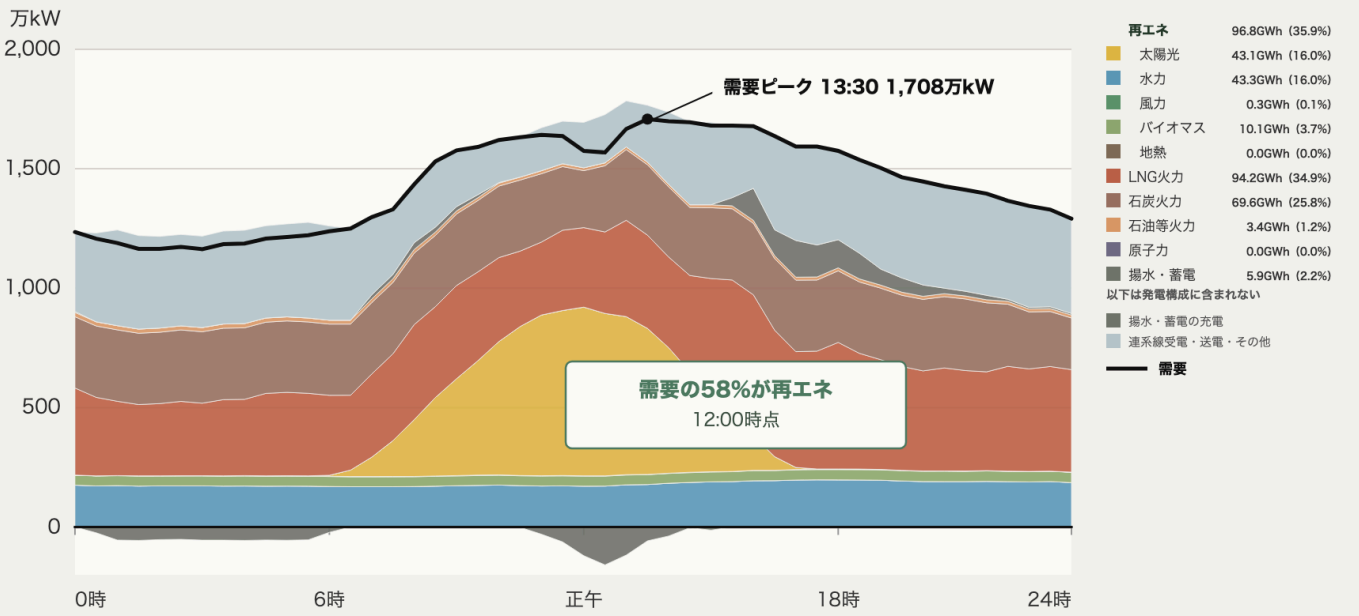
東京は、太陽光ピーク629万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.6%だった。

2026年9月30日の供給実績

中部エリア

再エネ
96.8GWh
（発電電力量ベース35.9%）

中部エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
269.9GWh

需要ピーク
13:30、1,708万kW

連系線・その他
80.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
5.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

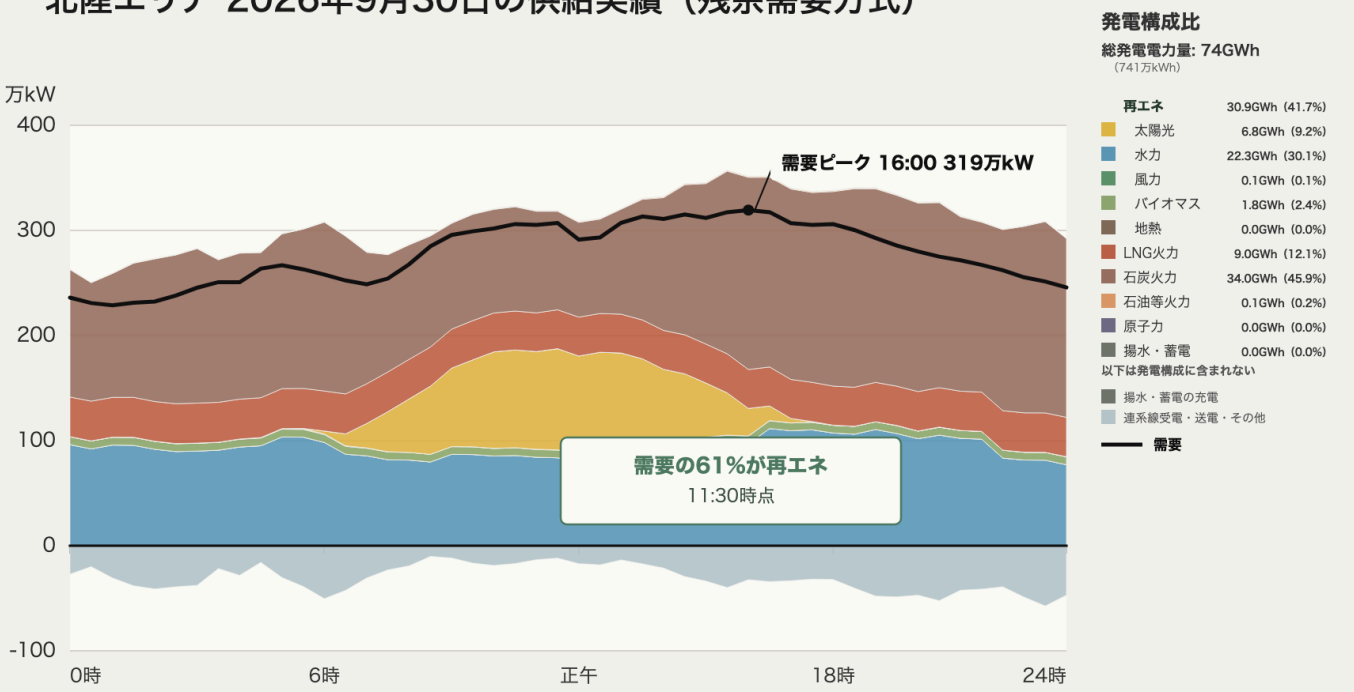
中部は、太陽光ピーク706万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.5%だった。

2026年9月30日の供給実績

北陸エリア

再エネ
30.9GWh
（発電電力量ベース41.7%）

北陸エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
74.1GWh

需要ピーク
16:00、319万kW

連系線・その他
7.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

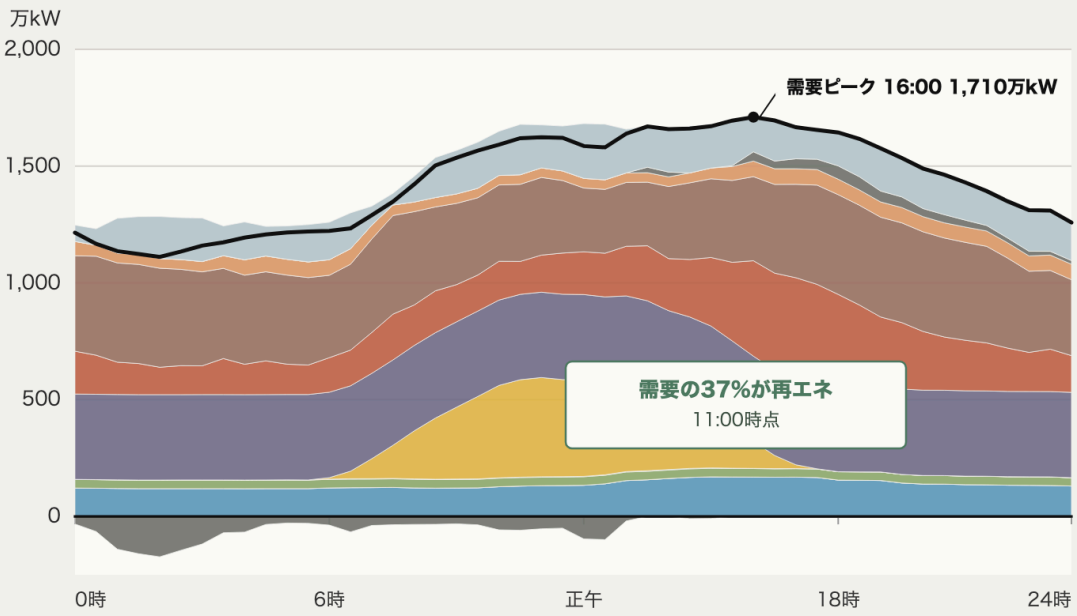
北陸は、太陽光ピーク96万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.8%だった。

2026年9月30日の供給実績

関西エリア

再エネ
70.8GWh
（発電電力量ベース22.5%）

関西エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 315GWh
（3,148万kWh）

再エネ	70.8GWh (22.5%)
太陽光	29.1GWh (9.2%)
水力	32.7GWh (10.4%)
風力	0.2GWh (0.1%)
バイオマス	8.8GWh (2.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	50.9GWh (16.2%)
石炭火力	89.4GWh (28.4%)
石油等火力	13.1GWh (4.2%)
原子力	87.7GWh (27.9%)
揚水・蓄電	3.0GWh (1.0%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
314.8GWh

需要ピーク
16:00、1,710万kW

連系線・その他
38.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
9.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

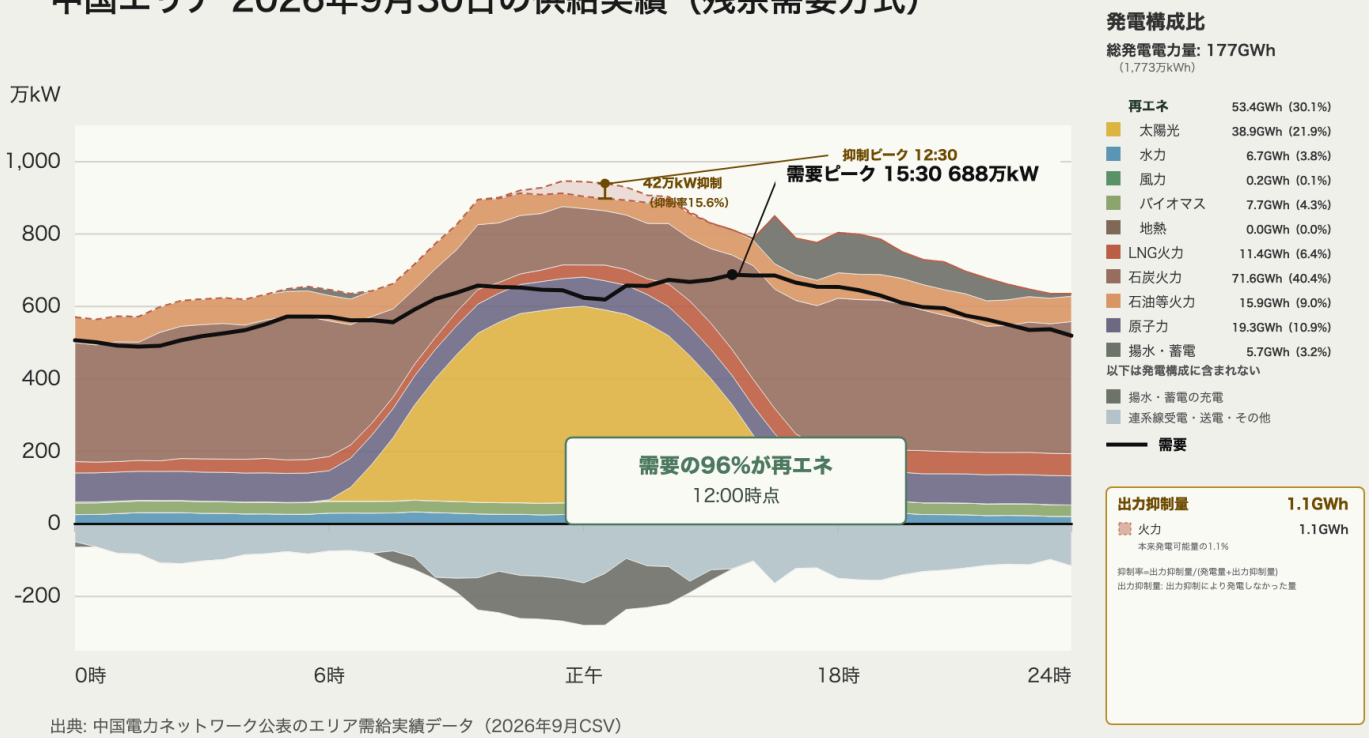
関西は、太陽光ピーク425万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は36.9%だった。

2026年9月30日の供給実績

中国エリア

再エネ
53.4GWh
（発電電力量ベース30.1%）

中国エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
177.3GWh

需要ピーク
15:30、688万kW

連系線・その他
27.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
6.8GWh

出力抑制
1.1GWh

概況

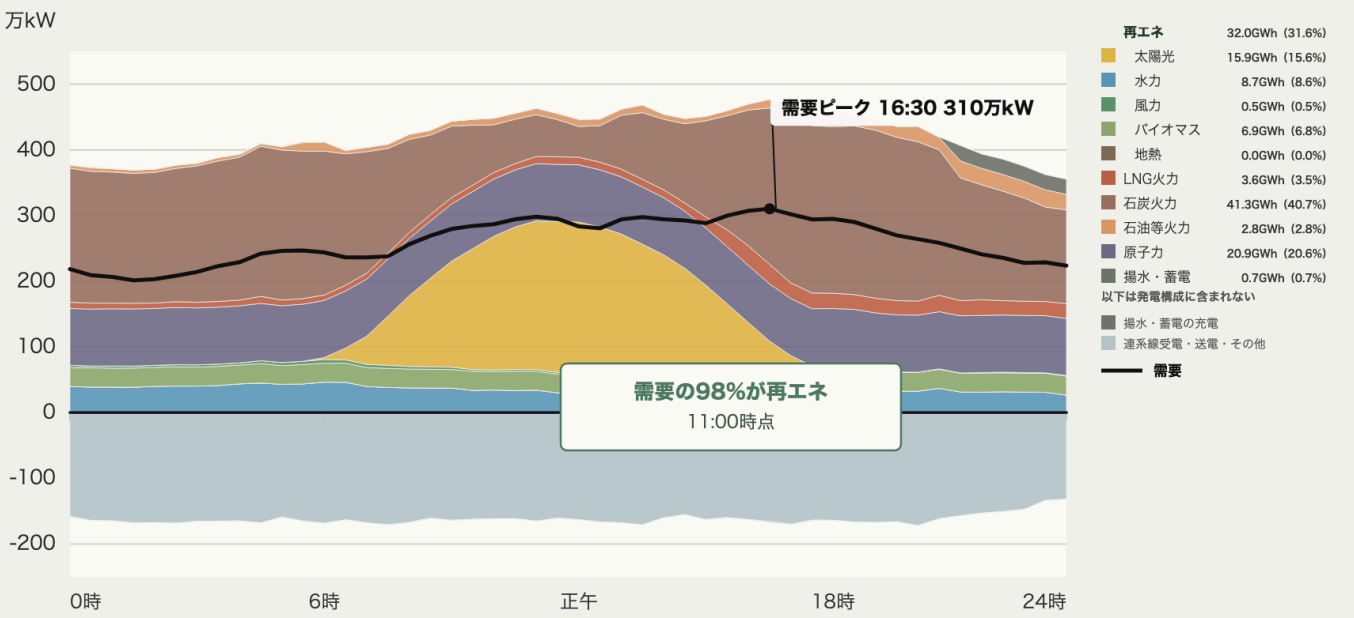
中国は、太陽光ピーク540万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は96.3%だった。

2026年9月30日の供給実績

四国エリア

再エネ
32.0GWh
（発電電力量ベース31.6%）

四国エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
101.3GWh

需要ピーク
16:30、310万kW

連系線・その他
39.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

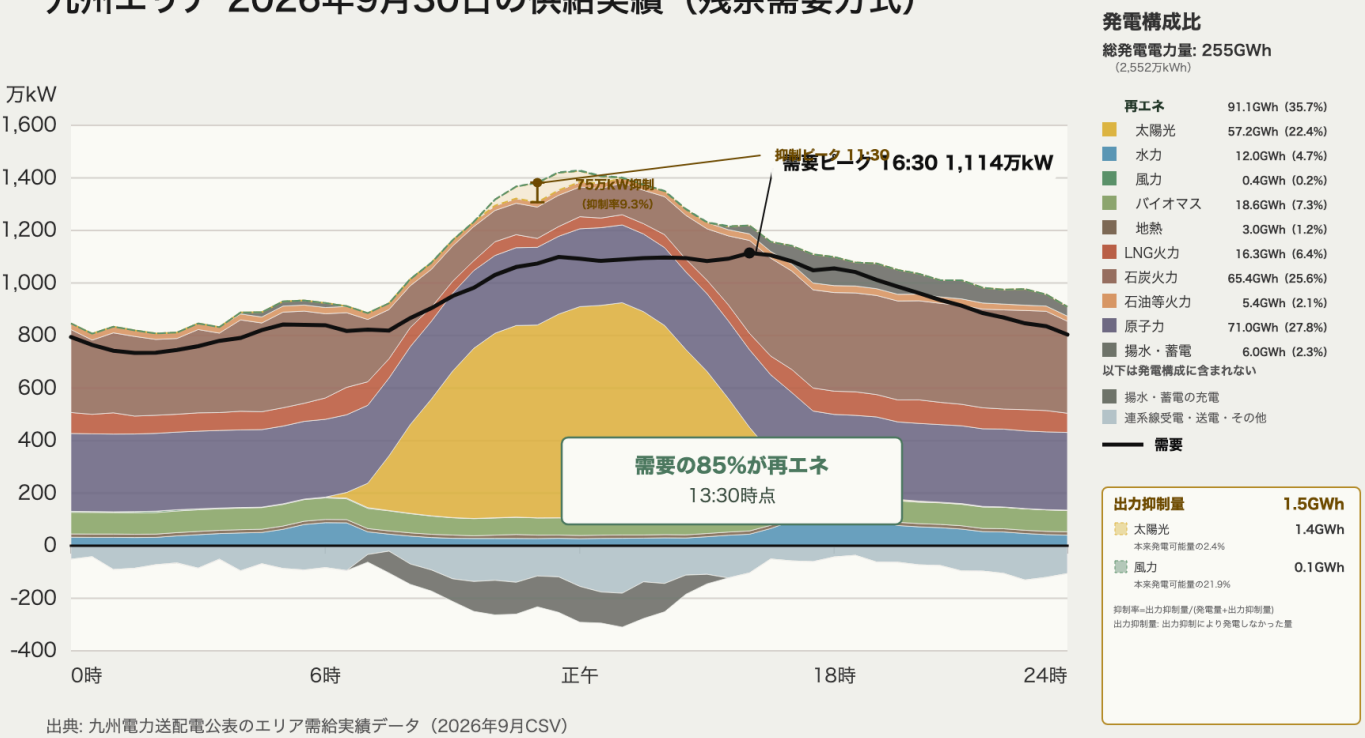
四国は、太陽光ピーク230万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は102.4%だった。

2026年9月30日の供給実績

九州エリア

再エネ
91.1GWh
（発電電力量ベース35.7%）

九州エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
255.2GWh

需要ピーク
16:30、1,114万kW

連系線・その他
22.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.6GWh

出力抑制
1.5GWh

概況

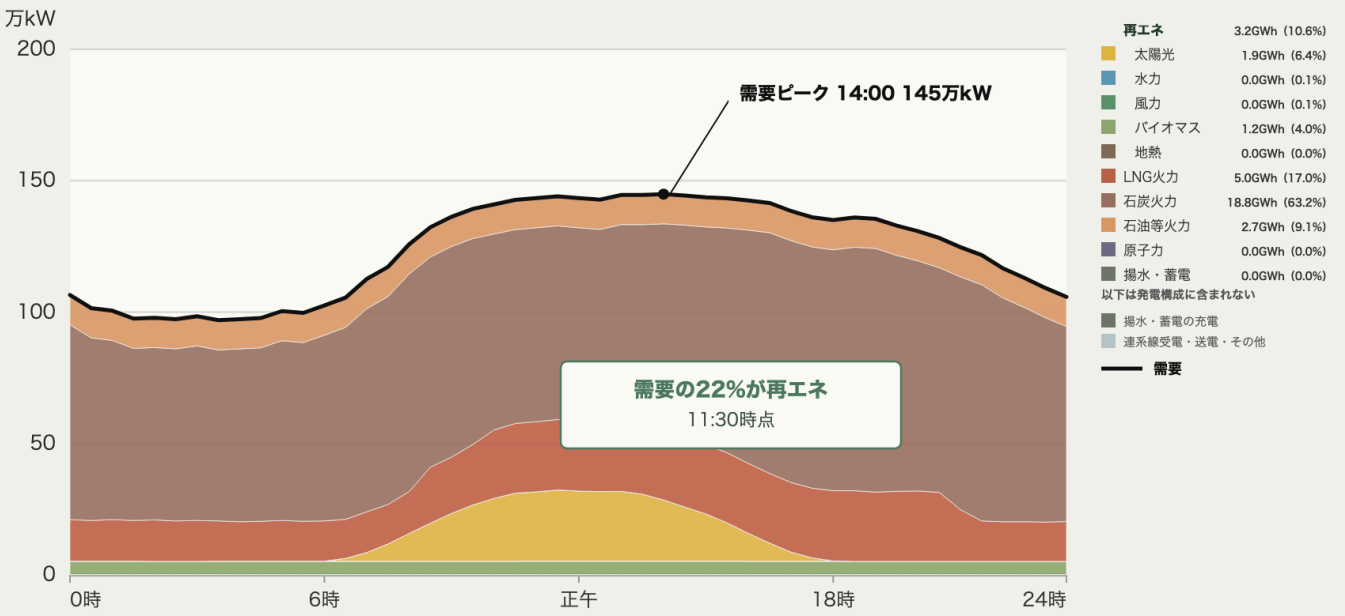
九州は、太陽光ピーク815万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.9%だった。

2026年9月30日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.2GWh
（発電電力量ベース10.6%）

沖縄エリア 2026年9月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
29.7GWh

需要ピーク
14:00、145万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.4%だった。